

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>グループホームローズガーデンの理念に基づき、別に定めた運営規定を遵守して、適切な認知症対応型共同生活介護を提供している。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>管理者及び職員は、毎日の業務の中での申し送りやカンファレンス、または定期的開催される職員会議等において、運営理念を確認すると共にその実践に向けて意思の統一をはかっている。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>グループホーム来設者への説明、定期的なグループホーム便りの発行などで理解を求めている他、地域に関しては定期的開催される運営推進会議において説明を行っている。</p>	<p>地域の方へグループホームの理念を浸透させていくために、地域との交流を検討していく。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>入居者の方が近所のそば屋へ食事に行ったり、また近隣の方が草刈りにきてくださったり、野菜を差し入れてくださったりと交流を持つことができている。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>現状では、御利用者様は地域活動への参加による地元の人々との交流は行えていません。事業所の職員は近隣への清掃活動に参加し地域の方と交流に努めている。</p>	<p>今後は御利用者様の福祉広場等への参加を企画し、地元の方々との交流の機会ができるよう検討していきます。</p>

グループホームローズガーデン

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者等の暮らしに役立つこと等は今のところ取り組みができていない。		グループホームの施設を活かした地域との取り組みや御利用者様と職員が地域に出かけていく機会を作ることで、地域に貢献できることを検討していく。
3. 理念を实践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の結果、改善すべきところは話し合いを行い検討するようにしている。		
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1度開催し、活動状況の報告やサービスについての報告を行い、委員の方々と意見交換を行い、出された意見は日々のサービスに取り入れ、実践していくよう努めている。		
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要があれば、随時連絡をとれるようにしているが、現在は運営推進会議のみ市町村(地域包括支援センター)の方に参加していただいている。		今後は今まで以上に市町村担当者との連携が取れるように体制を検討したい。
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	これまでこのような該当者がいない為、積極的に学ぶ機会を持っていないのが現状である。		今後は積極的に勉強していきたい。
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	現在、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち得ていないが、職員間でも日々のカンファレンスを通じ防止に努めている。		今後は積極的に勉強していきたい。

グループホームローズガーデン

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>グループホームローズガーデンの利用契約書に基づいて説明を行い、理解、納得を得ていただいている。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>御利用者様からの意見等は積極的に運営に取り入れている。具体的には「回転寿司に行きたい」「あじさいを見に行きたい」等の意見があり、取り入れている。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時に御家族にお伝えしていると共に、必要に応じ電話でもお伝えしている。</p>	<p>今後は家族会を企画して、定期的に行うと共にその中で報告も行っていきたい。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>主に御家族が面会に来られた際、ケアプランや御利用者様について話し合う機会を設けている。</p>	<p>今後は家族会を企画して、定期的に行うと共にその中でご家族等の意見も伺っていききたい。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>併設施設と行う定期的な会議の中で、各セクション長からの報告を受け、運営に反映すべきところは会議の中で検討し、活かしている。</p>	

グループホームローズガーデン

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	御利用者様や御家族の状況の変化に対応できるように勤務調整をしている。		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	やむをえない事情で併施設間での移動や離職もあるが、事前に連絡等を早めに行い引継ぎすることでダメージを最小限にしている。		
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	併施設間との間で定期的に研修を行っている他、法人内外の各種研修会に職員を参加させている。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	定期的に長野県宅老所・グループホーム連絡会等の研修会へ参加している。		松本圏域のグループホームネットワークの活動への参加を行っていききたい。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営者は職員との日々のコミュニケーションの中で、悩みや相談を受けストレスの軽減につながるよう助言等行っている。		

グループホームローズガーデン

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	定期的に行われる併施設との合同会議の中で、各セクション長からの報告を行っている。又、運営者、管理者が各セクションを訪れ、職員とのコミュニケーションをとるなかで把握している。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている	入居の際は御本人、家族と十分な話し合いの場を作り、対応している。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている	御本人に話を聞くと共に、御家族とも話し合う場を作り、対応している。		
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御本人、御家族から話を聞く中で必要とするサービスを把握し、提供するようにしている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	御利用者様の様子を見ながら、最初は少ない回数からスタートしたり、御家族の意見等も聞きながらサービス提供を行うとともに、馴染みの関係を構築できるように考慮している。		

グループホームローズガーデン

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食事準備(食器洗い、食器拭き)や副菜作り、おやつ作り等を御利用者様と一緒に、味付けや作り方など職員が教わりながらコミュニケーションをとっている。</p>	
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ケアプランについての相談、検討を御家族とも行い、御本人にとって何が良いかを一緒に考えている。</p>	
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>御家族の面会時の支援(御本人の生活状況の説明や場所の提供など)を行っている。</p>	
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>入居以前の、御本人が生活していた場所からは離れてしまっているため、施設の中にある資源の中で、御本人が昔から携わってきたこと、馴染んできたことにかかわっていけるよう支援している。</p>	
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>御利用者様にも相性がある為、トラブルにならないよう気の合う方とすごせるよう、座る場所等配慮している。</p>	

グループホームローズガーデン

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退居された場合も、必要に応じて指導、助言を行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々コミュニケーションをとる中で、御本人の思いを汲み取るようにしている。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に御本人、御家族から話を聞くと共に、入居してからの御本人、御家族の話からも把握できるよう努めている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	「介護経過記録」に御利用者様一人ひとりの様子を記録し、把握している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	御本人、御家族の要望を取り入れて介護計画を作成している。		

グループホームローズガーデン

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	最低3ヶ月に1回評価を行っている。又、その時々の利用者の状態に合わせ、必要時にはその都度評価や見直しを行っている。		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の様子を「施設介護経過」や「温度板」へ記録している。又、介護計画の実施もチェック表へ記入し、情報の共有をし、見直しにも役立てている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設施設で行われる行事にも積極的に参加し、その他デイケアや工作教室、書道などにも自由に参加でき、閉じこもりにならないよう支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	中山地区、内田地区のボランティアがきてくださったり、中山小学校の学生との交流がある。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	御本人が昔から携わってきたことを続けられるよう、御本人の意向に応じ、工作教室やデイケアへ参加していただいている。		

グループホームローズガーデン

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在、権利擁護やケアマネジメント等について地域包括支援センターとの協働は出来ていない。		運営推進会議の場をいかし、協働できるようにしていく。
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携病院はあるが、希望があれば他の病院へかかることも可能で、定期的にはまたは、必要時には職員の付き添いのもと、病院受診を行っている。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	管理者が精神科の医師である為、利用者の状態については常時報告し、診断、指導を受けている。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	併設施設の看護師と24時間体制で連絡が取れるようになっている。毎朝利用者の健康状態の申し送りを行っている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	提携病院があり、必要時は情報交換、受診等をしている。また、入院時にはより詳細な情報交換により早期に退院できるように努めている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	緊急時や終末期の対応については、御家族、管理者(医師)、スタッフとの話し合いを行い、方針の共有に努めている。		

グループホームローズガーデン

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在は重度な方、終末期の方がいない為、具体的な方針、対応については検討、準備は行っていない。		今後重度な方、終末期の方の受け入れの可能性もある為、いつでも対応できるように体制づくりを行っている。
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退居の際には御家族にも十分な説明を行い、不安なこと、心配なことに対してもしっかりと話し合いを行っている。		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレ誘導など、本人のみ聞こえるように声かけするなど配慮している。また、個人情報の管理についてもプライバシーの確保に注意をしている。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	一人ひとりにあわせた声かけを行い、今どうしたいのかという事を職員がしっかり聞き、対応するようにしている。		

グループホームローズガーデン

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとり生活のリズムが違うので、個々に声かけをし、その方のペースにあわせて過ごしていただけるよう対応している。</p>		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>洋服は自分の着たいものを着ていただき、髪を整えたり、ヘアピンをつけたりしておしゃれを楽しんでいただいている。</p>		
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>毎日の献立は決まっているが、盛りつけ等を利用者様に行っていただき、メニューの紹介等を行うことにより、食事を楽しく食べていただけるようにしている。</p>		
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>利用者様によっては、御家族の持ってきて下さったお菓子等、食べたい方もいる為、訴え時はもちろんのこと、職員側もこまめに声かけを行い提供している。又行事日には飲みたい方にはお酒も飲んでいただいている。</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけ、誘導を行う事で対応できている。</p>		

グループホームローズガーデン

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	現在入浴は午前、午後のどちらかで入っていただいているが、曜日、時間など一人ひとりの希望にあわせられていない。		曜日、時間などを一人ひとりの希望にあわせられるよう検討していく。
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	休息に関しては個人の生活リズムにあわせ、休みたい時にはいつでも休んでいただけるようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事仕事が好きなお方には、食器洗いや食器拭き等をお願いし、「自分の仕事」と認識を持っていただいている。又、昔行っていた事を活かせる場の提供を行っている。(工作、お茶など)		
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理できる方には自分で管理していただいている。自己管理できない方はステーションや事務所でお預かりし、必要に応じ使用できるようにしている。		
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望にそっての外出は行えていないが、御利用者様によってはデイケア、工作教室へ出かけたりしている。又、季節にあわせ紅葉見学やお花見などに出かけている。		日常的な買い物の希望等にも対応できるよう検討していく。

グループホームローズガーデン

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節にあわせてあじさい見学や回転寿司へ行ったりしている。御家族様と外出、外泊されることもあり、外出の支援を整えている。		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時には一緒に付き添って電話をかけたリ、手紙を出せるよう配慮している。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時には居室や談話室でゆっくりお話ができるよう配慮している。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	徘徊があったり、問題行動のある御利用者様には、安全確保の為に職員が付き添うようにしており、拘束などの行為は行っていない。		
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関、居室共に鍵はかけず、自由に出入りできるようにしている。夜間は玄関のみ鍵をかけるが、居室は鍵をかけず、自由に出入りできるようにしている。		

グループホームローズガーデン

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>職員は日々の業務の中で、御利用者様の状態を観察し、他の職員にも随時報告し、安全に配慮している。</p>		
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>刃物等、危険と思われれば回収することもあるが、破損しやすいものであってもできるだけ状況を考えて管理している。</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>転倒、窒息、誤薬、行方不明については、毎日の業務の中で職員同士で声をかけあったり、事故が起きた際には、どうしたら防げたかを全員で話し合い、その後にかかしている。</p>		
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>応急手当や初期対応の訓練は定期的に行っていない。</p>		<p>定期的に訓練、勉強会を行えるよう検討していく。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>併設施設と合同の消防訓練を年2回行っており、その際、御利用者様の避難、誘導訓練を行っている。中山地区の方や消防の方も参加していただいている。また、埴原南町会と防災組織を編成しており災害が起きた際にはすぐに協力体制がとれるようになっている。</p>		<p>夜勤者が1人しかいない夜間帯に災害があった際の御利用者様の避難の方法を検討し、体制づくりの必要性がある。</p>
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>入居時にはリスクに対する説明を御家族様にしている。又、入居してから御利用者様の状態にあわせ、その都度、今現在起こり得るリスクと対応について説明を行うようにする。</p>		<p>施設介護経過に説明の内容を記録するようになっている。</p>

グループホームローズガーデン

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>御利用者様の体調の変化、異変について小さなことでもその日の出勤のスタッフ間でその都度情報を共有している。また、申し送りにも記録し全スタッフに伝わるようにしている。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>細かい内容や副作用については全職員で把握していないが、薬に変化があった際の観察強化等の支援は行えている。</p>	<p>2～3ヶ月に1回薬事情報を利用し、その時々御利用者様の薬の状況を把握していくようにする。また、副作用等薬についての勉強会も行っていく。</p>
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>ヨーグルトや体操、水分摂取などを促し、出来るだけ便秘にならないよう働きかけが行えている。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>毎食後、歯みがきを行うよう一人ひとりに声をかけ、介助が必要な方には職員付き添いの元で口腔内の清潔保持に努めている。</p>	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>昼間はお茶をすすめて水分補給を促し、夜間水分補給の習慣のある方にはトイレに起きた際などに水分補給をしていただいている。食事量も毎食記録し把握できている。</p>	

グループホームローズガーデン

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	併設施設と共通のマニュアルに沿って実行している。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	職員、御利用者様の手洗いはもちろんのこと、アルコールや手袋の使用などを行い、衛生管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	プランターで花を飾ったり、掃除をするなどし配慮している。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	TVの音の大きさに配慮したり、食堂にも季節の花を飾るなどし、居心地よく過ごせるような工夫をしている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルに座る場所はそれぞれきまっておあり、仲の良い方、気の合う同士で座っていただけよう配慮している。必要に応じて居室、談話室の利用も可能である。		

グループホームローズガーデン

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>御本人の慣れ親しんだ物は持ち込み可能であり(イス、机など)出来るだけ以前と同じ感覚でいられるように配慮している。</p>		
<p>84</p> <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>共有スペースはこまめに換気をし、居室も一人ひとりの要望に沿った換気を行うよう配慮している。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>85</p> <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内部は広い為、車イス同士がぶつかることもなく移動でき、歩行訓練の場としても役割を果たすことができる。</p>		
<p>86</p> <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>洗濯物を一緒にタンスにしまったり、着る服もご自分で選んでいただいている。</p>		
<p>87</p> <p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>建物の周りが車の通り道になっていて庭がない為、居室の窓から見える場所にひまわりや花を植えて、御利用者様に楽しんでいただいている。</p>		<p>今後は建物の外回りや併設施設の敷地内を活用できるように検討していきたい。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

グループホームローズガーデン

. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に つけること)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

グループホームローズガーデン

項目		取り組みの成果 (該当する箇所に をつけること)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている
		少しずつ増えている
		あまり増えていない
		全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が
		職員の2/3くらいが
		職員の1/3くらいが
		ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が
		利用者の2/3くらいが
		利用者の1/3くらいが
		ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が
		家族等の2/3くらいが
		家族等の1/3くらいが
		ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・『ごく普通の「生活空間」で介護とともに仲間と暮らす』という理念の基に日々取り組んでいます。
- ・老人保健施設と併設しているため、様々な行事に参加できることが入居者の皆さんの気分転換や楽しみになっています。
- ・老人保健施設の行事にあった手作りのカードを毎月作っており、利用者様が作業を分担して楽しんで行っています。(160枚)
- ・犬が一匹ホームと一緒に生活しており、アニマルセラピーとしてホームの皆さんの心を癒しています。
- ・近くの小学生との交流会が定期的であり、一緒におやつを作ったり、歌やゲームで交流を図っており皆さんの励みになっています。